

執行部会議録

<2019/8/27～2020/5/22>の期間における「執行部 ML」と「執行部 LINE-グループ」を利用した話し合いでの発言(約 1600 発言:重複前後あり)をテーマごとに分類し会議録として整理した。

1) 2019/8/27～2019/9/11 (約 50 発言)

2019 年度総会にて出された提案、意見、質問、叱責などについて執行部の総意としての返答をまとめるために、メ-リングリストにて活発に意見交換を行った。

また、発言や提案について返答や即時対応できるものは役員合意で総会期間中であっても行った。(総会への発言を通常の神経 ML ではなく、総会用専用 ML のテスト運用を行った。 投票保留に対して再投票もできるようにした、等々)

2) 2019/9/12～2019/10/22 (約 500 発言)

(1) 総会閉会となり、賛成多数で 2019 年度議案書案は承認されたが、閉会後も会員からの意見もあった。

執行部として新役員(佐々木一朗氏、谷中弘一氏)も加入され、これを期に執行部 ML だけでなく即時性があるスマホでの“LINE”による執行部グループ(以後 執行部 LINE)も立ち上げた。

今年度総会での意見集約とそれに対する返答について ML と LINE にて、さらに話し合いを継続し、10/8 に執行部の総意として回答一覧を当会ホームページに UP した。

(2) 総会開催時期についての検討

総会時、開催時期をできるだけ早くにと望む意見もあり、執行部で実質可能な時期についてディスカッションを行った。4月開催が理想であるが、各支部からの行事計画案・会費納入などの提出メ切などを考慮すると難しい。しかし今後とも審議を継続し各支部長とも情報交換を行いつつ4月開催を目指すこととした。

つぎに、2020 年度の実現可能な開催時期を検討し、早ければ 5 月、遅くとも 6 月には開催できるように逆算して各種の準備を進めようとなった。

また、できれば総会開催の手順書を明文化しておき、各支部にも周知すれば毎年決まった時期に開催が可能になるのではないかと提案もあり継続検討することとした。新会長は任期中に決定を希望した。

(3) 従来の神経学術 ML と、総会への意見質問などは分離して投稿して欲しいとの要望もあり試運転的運用を開始したが、準備不足もあり配信不良なども発生し次年度はもう少し運用面に注意を払って行うとなった。

3) 2019/10/23～2020/2/25 (約 510 発言)

(1) 「今年度の全国研修会について」を主眼に会議を重ねた

(研修会相談のためこれより中部支部支部長 山本貴子氏も LINE 会議に登録した)

- ・中部支部幹事会に会長より打診し開催担当を了承された。
- ・会場はいつもの名古屋市立大学講堂とし開催日は 2020/3/7 を検討しているとのこと。
- ・テーマ「今日からあなたも小児神経が好きになる！～多角的視点から知識を深めよう～」となり決定している講師とタイトルの報告があり、未定のテーマについて講師相談を受けアドバイスをした。
- ・未定の講師に決定した。
- ・研修会参加費を格安で 3000/4000 円(弁当付)との提案を了承した。
- ・プログラム確定しホームページにて広報にて行った。

- ・配付資料は出費と手間の節約のため PDF 版の配布とする事を了承した。
- ・宿泊について開催翌日に名古屋国際女子マラソンがあるため近隣が予約不可で 20 分遠方に決定した。
- ・2 月中旬より新型コロナ感染が徐々に拡散し研修会開催での感染予防対策を検討した。

2020/2/19 LINE ビデオ会議を開催(石郷、瀬川、佐々木、谷中)した。メールでのやり取りでは意思伝

達が不十分になり決定が遅れてしまう懸念があるためである。最終的に全国研修会の中止(期日未定の延期)を全員一致で決定した。片山も同日メール賛同した。ただし、研修内容がたいへん充実しているので、

2020 年度にぜひとも同内容で開催できるよう中部支部とともに進めて行く事とした。

・なお、ビデオ会議前に山本支部長から支部の世話人会議にて開催中止もしくは延期の打診があり、執行部としても今後の感染拡大は続くと考えられたので早急に総意を決定しておく必要があった。

・後日に会長名と支部長の連名で神経 ML に中止の広報を行った(2020/2/24)

・すでに中部支部に送金した全国研修会開催補助金については、まだ未使用であったので、20 万をその

まま全国会計に戻すとし支部長にも了解を得た。

・その後、各支部の2月末～3月の研修会の中止連絡が各支部長より続々と入り、2019年度末の研修会はすべて中止(期日未定の延期)となった。その旨ホームページと ML にて広報した。

(2)今後の討議テーマの列挙

a. 役員の仕事分担の確認、b. 3/7 の全国研修会について、c. 2020 総会へのタイムスケジュールの検討、d. メーリングリストの運営規約、e. ホームページ運営について等などについて次年度総会までに検討審議を重ねておく必要がある。

(3)日本臨床神経生理学会に出席した新旧役員らで、会務の引き継ぎと参集して討議を行った。

・引き継ぎ終了後、会計は補助金還付を実行した。

(4)表彰委員の退会による補充委員の検討

・ある程度分野ごとに担当する委員がいる方が各自の負担減となる。

・複数の委員候補をリストアップし委員依頼を打診したところ、天理医療大の和田晋一氏、広島大学病院の小山由実氏が受諾され委嘱状と兼業依頼書を発行した。

・これ以降表彰委員会は独自の LINE グループにて選考会議を開催し会長特別賞1名、学術奨励賞1名を選抜した。

・2020/1/26～2/2 (10 発言)、表彰委員の交代について「臨時評議委員会」を開催した。

執行部からの新表彰委員への推薦 2 名(和田氏、小山氏)を提案し全会一致で承認を得た。この委員

会での会議は会議録として残し次年度総会に資料として付録する。

4) 2020/3/13 ~ 2020/5/20 (約 350 発言) 年度総会開催と議案書案の検討

(1) 各支部へ次年度行事、最新名簿提出、2020 年度会費および 2019・2018 会費保留残金の送金について、切期日(3 月末 4/20 に変更)を付けて行う提案を相談し合意した。

(2) 2020 年度事業計画と予算案について

・新型コロナ感染拡大により今年度の活動は立案しても実施の見通しが予想できない状況である。納入された年会費等について、各支部の研修会行事を支援するためにも 2018 年度にも行った「支部活動支援金」を、申請なしに 7 支部に還元する提案があった。会員数に応じた支援金案も検討されたが、最終的に各支部に同額を支援することで全会一致をみた。

・会費納入が昨年より早まったためと新型コロナの影響か未納会員が例年より多くみられた。そのため 2 年滞納で自動退会の規定にかかる会員が多く発生する可能性があったことに鑑み、今年の特例として自動退会のタイムリミットを今年度末までに引き下げる提案があり検討の結果、この案を採用することに決定した。

・メ - リングリストの運営について、昨年度に試運転した「運営 ML」を正式に開始し、本会の ML は 神経 ML と 総会 ML (仮称) の 2 本立てとする案について検討した。

利用規則もしくは使用規約は明文化されていないため、「内規 3」として利用規約を作成し本会の主要な活動といえるメ - リングリストの利用の充実を検討。後日「内規 3」として作成し執行部で賛同を得た。202 年度総会に資料として付録する。

・予算書の細部について意見や提案があり、検討を繰り返して 5/22 に最終案を全会一致で決定した。あらかじめ事前予告しておいた「評議員会」に提出し審議検討を受ける予定となった。

文責 日本神経生理検査研究会 事務局長 瀬川義朗

2020.5.22

執行部役員一同 同意